

(2) その他 市民ワークショップの開催について

1 開催概要

ア 背景

「基本計画」等の検討にあたっては、宮古市自治基本条例第4条（参画と協働の原則）及び第14条第2項及び第3項（市政運営の原則）の規定に基づき市民とまちづくりの目標を共有し推進するものとし、宮古市参画推進条例の規定に基づき、「市民の参画」により立案を進めていく必要があります。

イ 目的

市民から寄せられた重要課題について、広く市民が意見交換をする場を設け計画等の課題について、共同作業により解決方法や提案を求める。

また、意見交換を通じて、新たな地域リーダーの発掘と育成の契機となることや、日常の住民協働に結びつくことなど、波及効果も期待する。

ウ 名称

宮古市中心市街地拠点施設整備事業に関する「まちづくり市民会議」

エ 内容（市民ワークショップ）

- 課題 現在の市庁舎と宮古駅南側に整備予定の拠点施設を核とした中心市街地地区（エリア）に、結びつきやつながりを築き活性化を生み出す方策について、アイデアを出し合う。
- 対象 市内在住の概ね高校生から40歳未満（11月1日現在）で、まちづくり団体及びグループなどの構成員（高校生は、市内の高等学校に在学中の市外在住者を含む）ほか
- 時期 平成26年11月～27年6月（5回程度）
- 方法 課題について共同作業で議論することにより、案を作り上げる「ワークショップ方式」
- 反映 住民意向として、宮古市あるいは市民検討委員会などへ提出し、「基本計画」等の中で反映・検討
- 体制 岩手県立大学との地域協働研究（10月22日採択、27年9月まで）
弘前大学教育学部住居学研究室と連携（10月23日協議）

オ 周知方法

- ・広報みやこ（開催の周知など）
- ・市ホームページ（開催内容や経過などを掲載）
- ・市フェイスブック（随時記事を掲載）
- ・宮古エフエム（宮古ハーバーラジオ）
- ・各公共施設へのチラシ等の配架 ほか

2 開催予定

ア 参加登録状況（11月19日現在）

・一般公募	5名
・学生・生徒（短大、高校）	13名
・NPO等まちづくり団体	6名
・関係機関、団体ほか	15名
・市職員	5名
合 計	44名

イ 開催内容

別紙のとおり（周知チラシ）

主題：『中心市街地地区の活性化に向けたアイデア』

『現在の市庁舎と整備予定の拠点施設を核とした中心市街地地区（エリア）に関連性（つながり）を築き活性化を生み出す方策（アイデア）』
特に、中心市街地地区を全体として“復興後のまちを育てていく”ための“こと”をつくり、「来る人、住む人、働く人、活動する人」を応援していくことを主眼として、アイデアを出し合う。

※ 3回目以降については、第2回が終わった時点で方針を決める。

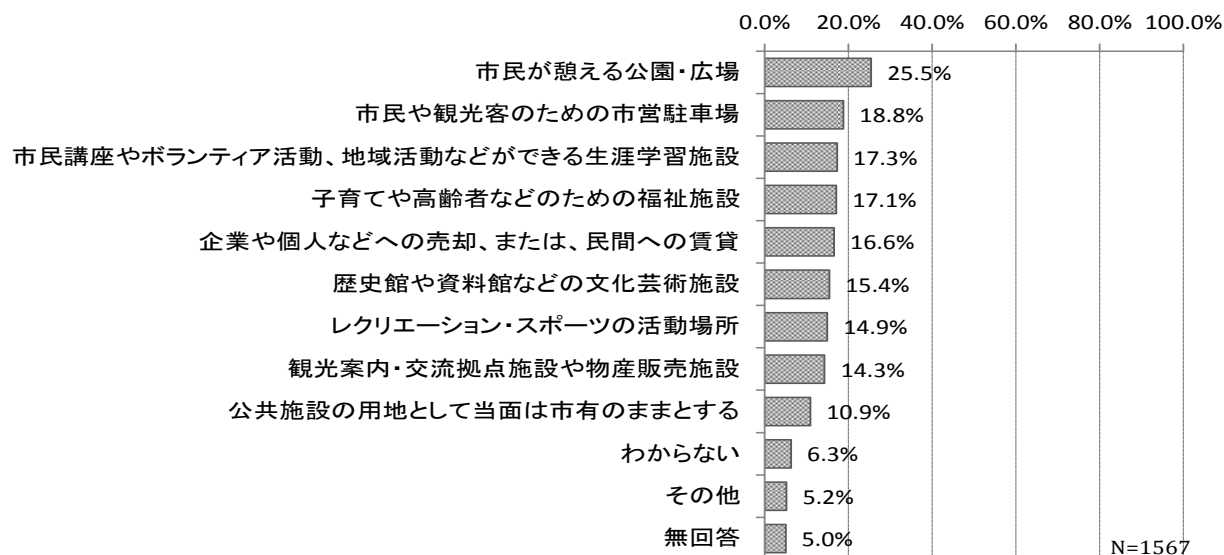
ウ その他

欠席した参加登録者との情報共有は重要であることから、毎回「活動かわら版（仮称）」を作成し配布する。「かわら版」は、市ホームページなどで紹介し、広く市民に周知する。（県立大学が作成）

【参考資料：市民アンケート調査結果（8月実施）】

◆ 拠点施設を整備し本庁舎や分庁舎を解体する場合の用地活用について（複数回答）

「市民が憩える公園・広場」と答えた人の割合が25.5%と最も高く、次いで「市民や観光客のための市営駐車場」と答えた人が18.8%となっている。ただし、その他いずれの回答にも大差はない。「その他」としては、「津波避難ビルとして残すべき」「道の駅とする」「売却」等の意見が見られた。



（※は、弘前大学、県立大学からのアドバイス）

※ 高校生に配慮して、「土曜日・午後」を基本として日程を設定する。

※ 参加登録は、初回だけでなく、随時間口を広げておくことも効果的である。

（例：参加者が新たな参加者を紹介してくれることもある。）

※ 「関連性（つながり）を築くこと」の中で、東西方向では出崎地区（シー
ートピアなあど、宮古港）や浄土ヶ浜などとのつながり（どうつながるか）、
南北方向では魚菜市場などとのつながり（どうつながるか）、これらを含み、「全
体のことを考えること」から始めた方がよい。

「拠点施設や市庁舎跡地活用のみ」をターゲットにしても、参加意欲は湧
かない。点としてではなく、軸として、面として整備していくことを念頭に
議論した方がよい。結果として、ターゲットが絞られ、「跡地利用」「拠点施
設」「商店街」などと狭まっていくことを想定していく。

※ 5回で完結すると限らず、その後の検討（議論）の展開は、開催しながら
考えていく方がよいと思われる。また、県立大学の地域協働研究の期間後も、
テーマを見直しながら、住民の参画を継続していくことが望ましい。

宮古市中心市街地拠点施設整備事業 市民ワークショップ
検討課題の方向性（素案）

【ワークショップのまとめ方針】

意見の集約及び分類分け

- ・ 中心市街地地区のことか、他地区のことか
- ・ 拠点施設に関連するか、しないか
- ・ 現有用地に関連するか、しないか
- ・ ハードか、ソフトか
- ・ 財源が必要か、不要か
- ・ すぐできることか、時間がかかることか